

はじめての 金継ぎ講座

「金継ぎ」とは

漆を用いて壊れた器を修繕し、繋ぎ目を金粉などで装飾する、室町時代ごろに確立された修理方法です。全9回を通して、接着から仕上げまで、すべて漆を用いて修繕していきます。一通りの材料・道具が揃いますので、講座後ご家庭で金継ぎができます。ご自分の食器を、ご自分の手で直してみませんか？



2023年 11/14 ~ 2024年 3/26 毎月第2・4火曜日 ※12/26は除く
14:00 ~ 16:00 (全9回・途中参加不可)

会場 ◆ 大津公民館 3F 造形実習室

対象 ◆ 18歳以上 (高校生不可)

定員 ◆ 9名 (応募多数の場合は抽選)

参加費 ◆ 5,600円/月 (月ごとの支払い・材料費含む)
※12月分のみ2,800円 (12/26休講) ※金粉・銀粉については、使用量に個人差があるので、別途料金が必要です。

持ち物 ◆ 金継ぎをしたい陶磁器 複数個 (ガラス器不可)、作品保管用の段ボール箱 (高さ20cm、縦横40cmまで)、ハサミ、カッター、ウエス (古布)、割り箸 複数本、汚れても良い服装 (エプロン、腕カバーなど)

△注意事項 ※本講座では本漆を使用いたします。皮膚のかぶれが気になる方はご受講をお控えください。※漆は衣類などにつくと落ちませんので、汚れても良い服装でご受講ください。※修繕後の陶磁器は、直火・電子レンジの使用はできません。

受付期間 2023年10月3日(火)から13日(金)まで

大津公民館窓口またはお電話にてお申込みください。抽選後、10月17日(火)から20日(金)ごろに当選者へ連絡します。



講師

漆作家 佐々木 萌水

1991年北海道生まれ、2016年京都市立芸術大学美術研究科工芸専攻漆工修了。

漆の魅力と可能性を伝えるべく、漆作家として活動中。

「うるし」を「おうち」で。」をコンセプトに漆を各家で「つかう・つくる・直す」ことを目標とした「uruō」を主宰している。

主催
お申込み
お問合せ

大津公民館 ☎077-526-2666 (9:00 ~ 21:00)

〒520-0042 大津市島の関14番1号 *休館日:月・祝・月祝翌日 *日曜日は17:00閉館

指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス

大津公民館
ホームページ

